

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

近藤 仁志議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 交流人口・関係人口増加に向けた取り組みについて</p> <p>①農泊推進事業の計画が示されたが、観光協会によるイベントの企画、推進、管理等が多く見受けられ、今までの事業を継続、推進していく上で現体制のままでやれるのか伺う。</p> <p>②情報の発信は進んでいるが、その後の効果、反応の検証が不足していると感じる。来町者の意向、動向、満足度調査は継続には欠かせないと考えるが。</p> <p>2. 道の駅について</p> <p>①新年度より新たな指定管理業者が決定したが、決定に至った評価と新事業者に期待するポイントは。</p> <p>3. 移住定住対策について</p> <p>①Uターン対策に対して、Uターン促進に向けた取り組みが希薄に感ずるが見解は。</p> <p>4. おおくさ荘について</p> <p>①おおくさ荘が休止し、福祉会から福祉保健課の所管になっているが、今後の利活用の方向は。</p>	<p>1.</p> <p>①平成30年度に向け常勤の協会職員3名体制と、道の駅観光案内のためのパート職員に加え企画課担当職員1名の体制で、企画課や協会役員、会員、観光ガイドの皆さまなど、町内協力者の支援もいただきながら推進していく。</p> <p>②道の駅での来訪者の動向調査を踏まえ更なる広報活動につなげている。意向、満足度調査は不足しており、電子媒体での手法も含め町内事業所と連携して検討、実施していきたい。</p> <p>2.</p> <p>①「施設の効用の発揮」、「施設の適正管理」、「経営規模及び能力」などの項目において高い評価となった。「にちなんブランド」の県内外へのブランディングや地元団体との関係性を強化した施設の魅力向上に期待をしている。</p> <p>3.</p> <p>①総合戦略に基づき世帯向け賃貸住宅の整備や分譲宅地への家屋建築助成などを行っている。直接的な支援と併せて農林業の所得向上など仕事と暮らしの質を向上させUターンを考えるきっかけづくりを進めていく。</p> <p>4.</p> <p>①おおくさ荘は、平成29年4月から町で管理をしている。現在、おおくさ荘は「避難所」として、「たんぽぽの家」は介護予防施設として必要時に使用することとしている。今後の活用については、検討中である。</p>

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

大西 保議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 外国人就労について</p> <p>①外国人技能実習生の出身国は、中国、ベトナム、インドネシア、ミャンマー等東南アジアが中心であるが、なぜ、まだ実績がないモンゴルを選定されたのかを伺う。</p> <p>②先日、新聞報道があったが、今後の進め方及び取り組むべき重要な課題は何かを伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①鳥取県はモンゴル中央県と交流を行っており、現在も大変友好的な関係である。「鳥取県モンゴル中央県親善協会」は県民レベルでのモンゴル中央県との友好交流の推進を目的として活動をされており町にとっても信頼できる相手国であると考えている。</p> <p>②視察による交流そして「人材交流派遣に関する包括協定」を結ぶなど、まずは友好的な関係づくりに取り組むことと並行して、受入体制を調べるとともに、町内事業所の受入希望確認と、モンゴル日本語学校卒業生の意向確認を進めていきたい。</p>
<p>2. セントラルファーム農場の排水について</p> <p>①日南町、セントラルファーム株式会社及び銭神山川農業用水関係者の3者による公害防止協約書の締結に向けた進捗状況を伺う。</p> <p>②昨年8月に鳥取大学農学部による「日野川水系における水質等調査報告会」で、今後の課題とされた5項目の内、森林開発周辺から流出している高濃度マンガンの起源特定について、その後の取り組み状況を伺う。</p> <p>③当農場の今後の経営計画や改善計画等で、何か情報収集されている内容があるか。</p>	<p>2.</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H29年9月から延べ4回実施 ・ 協約書締結に向けた条件の提示 ・ 当事者の意見は平行線 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マンガンの溶出起源は立証できていない ・ 開発地での調査実施を鳥取県と協議 <p>③畜舎の老朽化が進んでおり、施設の更新計画を策定中とのこと。</p>

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

足羽 覚議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. リハビリテーション科について</p> <p>①日南町の現状として、人口の半数以上が65歳を迎え、年代別では80歳代が最多数となっている。今後10年先、20年先と大変厳しい状況が予測されている。そのような現状の中、高齢者の自立支援や重度化予防に期待がもてるリハビリテーション科が1月から新設されたが、高齢化に向けた、更なる対応を計画されているか。</p> <p>②リハビリテーション科は、整形外科の患者数に大きく影響を受けると思うが、整形外科の受診日を増やす事は出来ないか。また、30年度の医師・看護師の求人募集状況は。</p> <p>2. 結婚対策について</p> <p>①かつて、結婚相手との出会いのきっかけとして「職場での出会い」や「青年団など地域社会での出会い」など、自然の出会いが主流だったが、出会いが減少している昨今、行政としても婚活応援をすることが必要な時代である。現在、町内に20代、30代、40代の独身男女はどの位おられるか。</p> <p>②婚姻奨励事業として、平成30年度は教育委員会が所管となって実施されるが、募集をかけても町内の参加者が集まり難いと予測される。どのような手法を取られるのか。</p>	<p>1.</p> <p>①訪問リハビリ、生活支援総合事業の通所型サービスCなど従来あったものを充実させ、より多くの方に利用してもらうようにする。</p> <p>②整形外科の受診日を増やすことは現状では難しい。30年度の新規採用は今のところない</p> <p>2.</p> <p>①町内の独身男性は、20代が123名、30代が106名、40代が99名である。また、独身女性は20代が87名、30代が39名、40代が40名である。</p> <p>②対象となる方に町報等で直接呼びかけるだけでなく、家族や友人等から働きかけたり勧めたりできるようにしていきたい。</p>

日南町議会議員 村上正広様

日南町長 増原 聡

久代 安敏議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 日南福祉会の人材確保対策について</p> <p>①介護職員の確保は喫緊の課題である。新年度からあらたに介護職員等の人材確保対策として100万円の支度金制度を設けることになっているが、中途退職者を生まないための処遇改善は図られているか。</p> <p>②町外から就職する職員に対して、パセオ住宅などに入居する住宅手当や通勤手当を助成する制度を独自に設けてはどうか。</p> <p>2. 林業成長産業化地域創生モデル事業について</p> <p>①この事業は5年間の事業であり、新規林業従事者の雇用拡大を20人と見込んでいるが、目標は達成できるのか。</p> <p>②地域林政アドバイザーを新規雇用することになっているが、業務内容を明らかに。</p> <p>③皆伐・新植を促進するためには、国・県と連携して再生林の補助金単価を増額することが求められると考えるが、どうか。</p> <p>④日南町木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入計画（平成29年2月）は、どのように検討されているか。</p>	<p>1.</p> <p>①日南福祉会においては、中途退職を防ぐため、また新規採用者を確保するため、処遇改善策（定期昇給の実施、賞与の率の維持、研修費資格取得費の助成等）様々な努力をされている。中途退職を防止するための取組み（腰痛予防のためのリフトの導入、研修会、ハラスメント防止研修、職場環境改善のためのプロジェクトチームの活動等）を実施されている。</p> <p>②住宅手当（月額上限2万円）、通勤手当（1kmあたり400円、月額上限5万円）は、法人独自で取り組まれている。これらを町で上乘せする制度については、現在考えていない。</p> <p>2.</p> <p>①目標が達成できるように事業を展開する。</p> <p>②新年度は、農林課の嘱託職員として、林業成長産業化地域創生モデル事業のうち、林業アカデミー整備事業を中心に、町行政の林業振興施策の一部を担当する。</p> <p>③現行制度では、地拵えと新植については、県補助金と町の単独補助により、個人負担はほぼ不要。ただし、下刈りには町の嵩上げを行っていないため、再生林が停滞する一要因となっている。</p> <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入計画は具体的な利用を想定して策定 ・低コストで安定供給が課題 ・薪ストーブなど家庭レベルでの推進